

Wellness Valley Mobility Friendly Day 2023

令和5年11月22日(水) 13:30~16:30 (セミナーは14:00~15:00)
場所：国立長寿医療研究センター

- 人生100年時代を迎える中、買い物や社会参加等の生活インフラとしてのモビリティとの共生は重要。
 - 身体の不自由な方や高齢の方を対象に在宅または施設で医療、介護、リハビリに従事する専門職を主の対象として、トヨタ自動車が行き届く福祉車両やアクセサリ事例紹介・デモンストレーションを実施。また、なごや福祉用具プラザの協力により、杖、車いすや歩行車などの福祉機器も展示し、乗車前後の利用者の活用を想定し総合的にコーディネート。
 - セミナーでは、実際にアクセサリを導入したウェルネスバレー地区の施設からの事例紹介を実施。
- ※参加者約30名の大きな属性（医師3名、介護福祉施設従事者6名、理学療法士5名、作業療法士6名、社会福祉士1名、行政6名（大府市・東浦町除く））
※ウェルネスバレー推進協議会「医福工連携マッチング事業」及び厚生労働省「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム構築事業」の一環で実施



国立研究開発法人
国立長寿医療研究センター
National Center for Geriatrics and Gerontology

TOYOTA



なごや福祉用具プラザ



アクセサリ事例紹介・デモンストレーションの様子

(国立長寿医療研究センター第1研究棟前ロータリー及び1階室内展示ブース)

(参考) https://www.city.obu.aichi.jp/wv/wv_event/1028903.html
<https://www.ncgg.go.jp/ri/seminar/robot/20231122.html>



セミナーの様子

(同センター第1研究棟ロビー)